

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市中部身体障害者福祉会館	評価対象年度	令和元年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人 川崎市身体障害者協会 ・代表者名 理事長 中込 義昌 ・住所 川崎市川崎区大島1-8-6	評価者	障害福祉課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害福祉課

2. 事業実績

利用実績	(講習会・ボランティア育成事業) ・手話入門(昼):全5回 64名 ・朗読入門(昼):全4回 20名 ・パステルアート教室:全1回 36名 ・手話入門(夜1):全6回 26名 ・ボランティア講習会:全2回 14名 ・吃音講座:全1回 19名 ・手話入門(夜2):全5回 52名 ・福祉講座:新型コロナウイルスにより中止 ・親子手話教室:全4回 24名 [作業室]令和2年3月31日現在 ・在籍数:生活介護 18名(前年比2名増) 就労継続支援B型 5名(前年比増減なし)																																										
収支実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">身障会館 (円)</th> <th colspan="2">障害者福祉サービス (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>20,842,167</td> <td>収入</td> <td>41,308,715</td> </tr> <tr> <td> 委託料他</td> <td>20,755,000</td> <td> 利用料他</td> <td>40,982,540</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>87,167</td> <td> その他</td> <td>326,175</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>27,034,042</td> <td>支出</td> <td>42,224,112</td> </tr> <tr> <td> 人件費</td> <td>21,506,572</td> <td> 人件費</td> <td>36,507,580</td> </tr> <tr> <td> 事務費</td> <td>1,311,558</td> <td> 事務費</td> <td>2,307,773</td> </tr> <tr> <td> 事業費</td> <td>361,899</td> <td> 事業費</td> <td>2,835,541</td> </tr> <tr> <td> 施設管理費</td> <td>3,854,013</td> <td> 施設管理費</td> <td>573,218</td> </tr> <tr> <td>差額</td> <td>▲ 6,191,875</td> <td>差額</td> <td>▲ 915,397</td> </tr> </tbody> </table>	身障会館 (円)		障害者福祉サービス (円)		収入	20,842,167	収入	41,308,715	委託料他	20,755,000	利用料他	40,982,540	その他	87,167	その他	326,175	支出	27,034,042	支出	42,224,112	人件費	21,506,572	人件費	36,507,580	事務費	1,311,558	事務費	2,307,773	事業費	361,899	事業費	2,835,541	施設管理費	3,854,013	施設管理費	573,218	差額	▲ 6,191,875	差額	▲ 915,397		
身障会館 (円)		障害者福祉サービス (円)																																									
収入	20,842,167	収入	41,308,715																																								
委託料他	20,755,000	利用料他	40,982,540																																								
その他	87,167	その他	326,175																																								
支出	27,034,042	支出	42,224,112																																								
人件費	21,506,572	人件費	36,507,580																																								
事務費	1,311,558	事務費	2,307,773																																								
事業費	361,899	事業費	2,835,541																																								
施設管理費	3,854,013	施設管理費	573,218																																								
差額	▲ 6,191,875	差額	▲ 915,397																																								
サービス向上の取組	・会館では、地域で活動している団体や施設と連携し、障害者が講師を務めるパステルアート教室や吃音講座といった新たな講座を開催した。 ・作業室では、朝礼にて利用者が司会を行う等、能力向上への取り組みを行うとともに、利用者の高齢化・重度化に対応するため、看護師の指示のもと、利用者の健康管理や身体機能の維持改善、口腔ケアに取り組みなど、サービス向上に取り組んでいる。																																										

3. 評価 (評価段階:5~1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・会館では、地域との連携・地域開放の取り組みとして、コミュニティカフェを実施し、地域の方がボランティアとして活動するとともに、地域住民と障害のある方が交流のできる場所として取り組んでいる。 ・作業室では、利用者が主体的・自主的に行動するサポートを行った。ミーティングの際に利用者に司会を担当してもらうことや、発言を促す取り組みをすることで、利用者の積極的な発言や、利用者間や職員、利用者間でのコミュニケーションが増えるなど、利用者の主体的・自主的な行動につながった。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・支出については、見込になかった賞与引当金繰入があり、予算を上回った。 ・必要に応じ税理士法人から助言を受け、適正な会計処理を執行している。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	3	6
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	3	3
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由) ・一部の講習会の応募が定員を下回り、開催を見送っている。 ・会館及び作業室のホームページを開設し、パソコンやスマートフォンを利用する方々を含め、幅広い世代に情報提供ができるよう、サービス向上に取り組んでいる。 ・利用者意見を反映するため、会館では利用団体懇談会を開催し、意見反映を行っている。作業室では、「思いカード」として、投書箱の設置、苦情受付方法の掲示、苦情解決担当者を設置し、文書または口頭にて、迅速かつ適切に対応している。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	4	4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が作業で使用するパソコン技術向上のために専門スタッフを配置して、ニーズに応じた体制を整備している。 ・地域との連携やネットワーク構築などのスキルアップ等を目的に外部研修を受講しており、受講した職員が伝達研修を行い、事業所内で情報の共有を図るなど、スキルアップに寄与している。 ・非常災害に備えた取り組みとして、BCP(大規模災害時事業継続計画)及び災害時要援護者洪水時避難確保計画を策定し、職員及び利用者に周知を図った。災害時用品の備蓄量を見直し、新たに備蓄するなど、非常災害対策の強化を図った。また、安心安全の取り組みとして、防災訓練を2月に1回行うとともに、ヒヤリハットも報告を取り、毎日の職員ミーティングや月一回の職員会議等にて、周知・検討し、再発防止を図るなど、資質向上への取り組みを行った。 ・コンプライアンス研修を実施し、新たに策定した「コンプライアンスに関する取り扱い要綱」の内容について確認を行っている。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な利用に支障をきたすことのないよう、毎日チェック表により施設設備の点検を実施している。 ・施設管理について、概ね適正に管理運営を行っている。 					

4. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E/標準:C/A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・会館及び作業室のホームページを開設し、パソコンやスマートフォンを利用する方々を含め、幅広い世代に情報提供ができるよう、サービス向上に取り組んでいることが評価できる。
 ・BCP(大規模災害時事業継続計画)及び災害時要援護者洪水時避難確保計画を策定し、災害対策対策の強化を図ったことが評価できる。
 ・作業室において、新たな作業や利用者全員ができる作業の受注とともに、自主製品の新品開発を行い、サービス向上に取り組んでいることが評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・各事業において質の高いサービスを提供し、障害者の自立と社会参加の促進が実現されるように取り組んでいくこと。
 ・一部の講習会の応募が定員を下回り、開催を見送っているため、参加者のニーズに合わせた講習会の実施に取り組むこと。